

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 23 年 3 月 24 日 (2011.3.24)

【公表番号】特表 2010-518699 (P2010-518699A)  
 【公表日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-021  
 【出願番号】特願 2009-548335 (P2009-548335)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/10 (2009.01)

H 0 4 W 28/18 (2009.01)

H 0 4 L 29/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 2 7 1

H 0 4 Q 7/00 2 8 1

H 0 4 L 13/00 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 4 日 (2011.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線リンク制御 ( R L C ) エンティティにおける R L C 動作を強化する方法において、複数のパケットデータユニット ( P D U ) のバイト数に基づいて、少なくとも 1 つのウィンドウサイズおよび R L C ボーリングメカニズムを定義しおよび管理するステップであって、前記複数のパケットデータユニットの各々のサイズが変化するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記ウィンドウサイズを定義しおよび管理するステップは、パケットデータユニット ( P D U ) シーケンス番号にさらに基づいていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記バイト数を、 R L C 制御 P D U およびステータス P D U に含めるステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

より高いレイヤから、最大 R L C P D U ペイロードサイズを受信するステップと、前記最大 R L C P D U ペイロードサイズから最大 R L C P D U サイズを推測するステップとをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

より高いレイヤから、最大 R L C P D U ペイロードサイズを受信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

無線リソース制御 ( R R C ) エンティティから、他の R L C モードに加えてフレキシブル R L C P D U サイズモード用の新しいインジケータを含む C H O I C E ダウンリンク R L C モード情報と、フレキシブル R L C P D U サイズモード示す情報要素と、

オクテット単位の R L C スケールパラメータまたはフレキシブル R L C P D U サイズ  
モードの最大 R L C P D U サイズの一方を示すダウンリンク R L C P D U サイズ情報  
と、

P o l l \_ P D U、P o l l \_ S D U、C o n f i g u r e d \_ T x \_ W i n d o w \_  
S i z e、および C o n f i g u r e d \_ R x \_ W i n d o w \_ S i z e を含み、前記 R  
R C によってシグナリングされるプロトコルパラメータであって、P D U の数およびバイ  
ト単位の少なくとも一方で指定され、解釈されるプロトコルパラメータと

の少なくとも 1 つ含む無線ベアラ情報要素を受信するステップをさらに備えることを特  
徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

最大 R L C P D U サイズとともにフレキシブルパケットデータユニット ( P D U ) サ  
イズをサポートすることによって、無線リンク制御 ( R L C ) 動作を機能強化し、  
複数のパケットデータユニット ( P D U ) のバイト数に基づいて、少なくとも 1 つのウ  
ィンドウサイズおよび R L C ボーリングメカニズムを定義しおよび管理し、前記複数のパ  
ケットデータユニットの各々のサイズが変化する

よう構成されたことを特徴とする無線リンク制御 ( R L C ) エンティティ。

**【請求項 8】**

前記バイト数を、R L C 制御 P D U およびステータス P D U に含めるようさらに構成さ  
れたことを特徴とする請求項 7 に記載の R L C エンティティ。

**【請求項 9】**

より高いレイヤから、最大 R L C P D U ペイロードサイズを受信し、  
前記最大 R L C P D U ペイロードサイズから最大 R L C P D U サイズを推測する  
ようさらに構成されたことを特徴とする請求項 7 に記載の R L C エンティティ。

**【請求項 10】**

より高いレイヤから、最大 R L C P D U サイズを受信するようさらに構成されたこと  
を特徴とする請求項 7 に記載の R L C エンティティ。

**【請求項 11】**

無線ベアラに対するセットアップ、構成および再構成手順の少なくとも 1 つの最中に、  
ウィンドウサイズに基づいて前記バイトカウントを受信し、およびネゴシエートするよう  
さらに構成されたことを特徴とする請求項 7 に記載の R L C エンティティ。

**【請求項 12】**

パケットデータユニット ( P D U ) シーケンス番号にさらに基づいて、前記ウィンドウ  
サイズを定義し、および管理するよう構成されたことを特徴とする請求項 7 に記載の R  
L C エンティティ。